



平成 27 年 11 月 26 日

各 位

会 社 名 アジアグロースキャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平  
(コード番号 6993 東証第2部)  
問合せ先 総務部長 岩瀬 茂雄  
(TEL. 03-3448-7300)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 11 月 12 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	親会社株主に 帰属する 1 株 あたり当期純 利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,894	2,077	1,420	398	4.94
今回修正予想 (B)	20,894	2,077	1,420	434	5.38
増減額 (B-A)	—	—	—	36	
増減率 (%)	—	—	—	9.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	17,237	2,501	2,053	698	9.00

#### 2. 修正の理由

本日公表いたしました「子会社に対する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ディーワンドーランド（以下、「DW」といいます。）に対する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）を行うことを決議いたしました。当該デット・エクイティ・スワップの効力発生日は、平成 27 年 12 月 24 日を予定していることから、平成 28 年 3 月期第 3 四半期会計期間末より、当社グループの DW 株式の持分割合が約 71.5%から約 87.5%に増加致します。その結果、当社主要孫会社である DW 完全子会社の株式会社大黒屋（以下、「大黒屋」といいます。）の業績の当社帰属額が増加することから、親会社株主に帰属する当期純利益を増益修正いたします。

なお、売上高、営業利益、経常利益につきましては、変更ございません。

(補足説明)

上記修正の要因であるデット・エクイティ・スワップによる当社グループのDW株式の持分割合の増加による平成28年3月期通期連結業績への影響は、DW株式の持分割合の増加が平成28年3月期第4四半期会計期間末からであることから限定的ではございますが、平成29年3月期以降の連結業績におきましては、年間をとおして、DW株式の持分割合が約87.5%となるため、大黒屋業績の当社帰属額は平成28年3月期通期連結業績に比べ増加することが見込まれます。

なお、平成27年11月27日付で公表いたしました「(追加)「業績予想の修正に関するお知らせ」に関する補足説明」に記載いたしました一過性の費用(銀行手数料237百万円並びにSFL買収に伴う追加経費220百万円)が発生せず、かつ、平成28年3月期期首よりDW株式の持分割合が87.5%であったと仮定した場合には、上記平成28年3月期通期連結業績予想数値に比べ、経常利益は459百万円増の1,879百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は469百万円増の868百万円となり、平成29年3月期以降の連結業績が平成28年3月期と同水準(一過性の費用を除く)である場合には、当該増加額が、平成29年3月期以降の連結業績において改善されることとなります。

以上